

# 指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

## 1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 2 年度)

施設の名称	東大阪市立荒本斎場	指定期間	27	年度～	1	年度	
		指定の方法	単体施設を指定管理				
施設所管課	健康部 斎場管理課	連絡先	06-4309-3192				
設置目的	葬儀や火葬が公衆衛生上その他住民の福祉の見地から支障なく執り行われる施設として設置						
施設内容・業務内容等	火葬業務及び葬儀場の維持管理業務						
指定管理者	荒本斎場管理委員会	連絡先	06-6788-7424				
人員体制	正規職員	2	人	パート・アルバイト	人	その他	人

## 2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	249	251	253	244	247
指定管理委託料(千円)	8,309	8,351	8,429	単独では出ない	単独では出ない
利用状況指標	1 火葬件数(件)	18	29	43	補足説明
	2				補足説明
	3				補足説明

### 3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、  
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。  
 「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点		施設担当課のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	B	協定書に基づき、施設の設置目的を果たしているが、計画的な連絡調整や危機管理の意識については不十分な点も見られた。
B 管理・運営能力	人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	指定管理施設の修繕等に関する報告や連絡が速やかであり、施設の快適性の向上に努める姿勢は見られたが、防犯対策をはじめ、一部不足する点も見られた。
C サービス	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	サービスの公平性が図られており、正確なサービスが提供されている。施設が老朽化していることもあり、高齢者や障害者への対応という点については満足できなかった。
D 市民視点	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	B	利用者からの意見を聴取する仕組みがなく、利用者ニーズの把握ができていない。そのため利用者の満足度を高める工夫などもされていなかった。
E 効果・効率性	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	B	運営経費は縮減できるものも少なく、管理経費については前年度並みであった。利用状況については、近年横ばい状態であり、利用状況の改善は見られない。
F 法令等遵守	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	法令や各種規制等について順守しながら運営ができていた。個人情報扱うことから、そのマニュアルや危機管理についての意識が十分とは言えなかった。
課題への対応 今後の取組		最終評価 (任意設定)  B	地域住民で組織された団体での管理となっており、そのスケールが大きくないことから、創意工夫や改善の余地が少ない一方で、利用状況の改善などへの主体的な取り組みが見られなかった。